



2016年11月5日発行(季刊)

特定非営利活動法人 市民シンクタンクひと・まち社  
〒160-0021 新宿区歌舞伎町 2-19-13 A S K ビル 601  
TEL 03-3204-4342 FAX 03-6457-6202  
E-mail npo@hitomachi.org URL : <http://www.hitomachi.org>  
郵便振替口座 00170-6-410791 市民シンクタンクひと・まち社

## 地域で組合員を孤立させない～コミュニティの取り組み

生活クラブ生協・東京 常勤理事 小林徹也

生活クラブ生協では「組合員を一人として孤立させない」というミッションを掲げ、地域で組合員どうしが固有名詞でつながる場として「コミュニティ」活動を推進している。生活クラブで進めるコミュニティは、一定区域内の組合員による20～40人の集まりだ。日常的な関係づくりがすすみ、生活クラブと地域社会の会話が行われていく場として機能し、地域のなかに組合員の役割や居場所ができることをめざしている。

コミュニティ活動は2012年度から始まった。2011年3月11日に起きた東日本大震災をきっかけに地域の危機管理のしくみが必要であると再認識し、小さな単位での人のつながり＝「コミュニティ」をつくっていくことを方針に掲げた。初年度の2012年度には80のコミュニティが形成され、2016年9月現在323のコミュニティが活動を行なっている。組合員の約15%にあたる12,200人がコミュニティに所属しており、「組合員を孤立させない」という点ではまだ途上ではあるが、広がりを持った活動になっている。

コミュニティづくりを進めるにあたっては、生活クラブの組合員活動を活発に担ってきたメンバーをコミュニティリーダーに選任し、周りの組合員に参加を呼びかけてもらうことから始まった。当初は組合員どうしのたすけあいの組織に位置づけ、平時と非常時に助け合えるようになることを目標とした。非常時のしくみとしては、1年に1回、緊急支援物資の配達と受け取りの訓練を実施している。訓練は、「①コミュニティに事前に受け取り先を登録してもらう、②訓練の日に配送センターから登録先に支援物資の配達を行なう、③コミュニティリーダーがメンバーに連絡し支援

物資を取りに来てもらう」という流れだ。この防災のしくみへの参加をきっかけにコミュニティづくりが進んでいる。

現時点のコミュニティ活動の到達点は、①地域のなかでのつながりの必要性への共感が広がり着実にコミュニティが増えている、②そのなかで支援物資の配達受取訓練への参加だけでなく、3～4カ月に一度くらいのペースで定期的に茶話会や企画を行なっているコミュニティが存在してきている、③人のつながりはママ友に代表されるように同質性をもとに広がっていくことが多いが、地域社会の縮図であるコミュニティは年齢が高めの組合員から子育て世代の組合員と子どもというように老若男女がつながる場となっているところもある、という感じだ。

最後にコミュニティ活動の今後の可能性について記したい。コミュニティは近隣に住んでいるメンバーで構成されており、メンバーは社会や地域で多様な経験を持って暮らしていることから情報と人材の宝庫である。人がつながり、情報が活用されれば、生活クラブの活動はもとより、それぞれのメンバーが携わっている事業や活動が進む、また地域に必要な機能づくりにつながる可能性がある。人のつながりをもとに地域に組合員の役割や居場所ができることで、年齢を重ね一人で暮らすようになって、住みなれた地域で暮らし続けることができる・・・「組合員を一人として孤立させない」ことへのつながりを大いに期待したい。

